

令和2年度みやぎビジネスアカデミー（高度プログラム）運營業務委託企画コンペに関する質問回答について

令和2年5月18日

| No. | 該当頁 該当箇所 | 質問内容 | 回答 |
|-----|----------------|--|---|
| 1 | 仕様書頁1 3(1) | 〈①のプログラムについて〉 会場費の見積りは各社でとるのか。 | 貴見のとおり。 なお、ニューウェルシティ宮崎の次の会場を予約済です。 ・「高千穂」15:00～18:00 ・「梅」15:00～20:00 ・「関之尾」18:00～20:00 |
| 2 | 仕様書頁2 3(1) | 〈②のプログラムについて〉 県内企業への指導・助言については、その活動が可能であれば受託者側で行っても問題ないか。 | 県内企業への指導・助言は、三菱地所の選定する講師が実施します。 |
| 3 | 仕様書頁2 3(1) | 〈③～⑤のプログラムについて〉 グロービスの教材を使わないといけないのか。 | 貴見のとおり。 |
| 4 | 仕様書頁2 3(1) | 〈③～⑤のプログラムについて〉 出講いただくグロービスの講師の方のポジション ・講義のみなのか、グループディスカッションのコーディネータまですべて行うのか。 ・講師の方の出番は受託者側が決めていいのか。 | 当プログラムでは、講師の選定を始めプログラムの内容についてはグロービスが企画し、受託者は、受講者の対応、会場の手配等を行うほか、プログラムの運営をグロービスと連携して実施する役割分担となります。 講義やグループディスカッションのコーディネータ及び講師の出番はグロービスが決めます。 |
| 5 | 仕様書頁2 3(1) | 〈③～⑤のプログラムについて〉 プログラムの中で、受託側（弊社コンサルタント）が講義しても問題ないか。 | 講義等はグロービスが実施します。 No.4 参照のこと。 |
| 6 | 仕様書頁3 3(1) | 〈③～⑤のプログラムについて〉 受講料の決定は任意かどうか。 | 受講料の額は提案の範疇とします。ただし、県との協議により決定します。 なお、平成30年度は、仕様書別添「ひなたMBA講座案内【令和元年度】」の高度プログラムの「ヒューマンスキルプログラム」が45,000円、「テクニカルスキルプログラム」が30,000円です。 |
| 7 | 仕様書頁3 3(2) | 定員が8割に満たなかった場合について | 原則として、8割以上の受講者を確保してください。 |
| 8 | 実施要領 2頁6(2) | 企画内容の様式は任意でも問題ないか(PowerPointでも問題ないか) | 貴見のとおり。 |
| 9 | 実施要領 2頁6(2) | 章立ての型決めはないか。 | 貴見のとおり。 |
| 10 | 実施要領 3頁6(4) | 評価項目の詳細および各項目におけるウエイトはあるか。 | 評価項目は次のとおりであり、(1)を重視します。 (1)業務仕様書を踏まえた内容で、業務目的が達成されるか。 |

| | | | |
|-----|---|--|---|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・受講者の学習意欲を喚起する内容となっているか。 ・高度なヒューマンスキル・テクニカルスキルを習得できるプログラムの内容か。 ・各プログラムの実施日数、実施会場、受講対象者、受講料は適切か。 ・三菱地所及びグロービスと十分に連携して運営できる内容となっているか。 ・受講者を確保するための効果的な方法を提案する内容となっているか。 ・ひなたMBAの効果的な広報・周知をする内容となっているか。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した日程や内容となっているか。 <p>(2) 業務実施体制は十分か。 (3) 計画的な業務スケジュールとなっているか。 (4) 経費の積算が妥当であるか。 (5) 過去に本業務と同等程度の業務実績があるか。</p> |
| 1 1 | — | みやざきビジネスアカデミーのこれまでの受託業者と選定理由 | <p>令和元年度みやざきビジネスアカデミー（高度産業人財育成プログラム）運営業務受託業者：株式会社宮崎県ソフトウェアセンター</p> <p>選定理由：業務仕様書を踏まえた内容で、業務目的が達成されることが見込まれるため。</p> |
| 1 2 | — | みやざきビジネスアカデミーにおけるこれまでの実績（各回において定員何名に対して何人集まったのか） | <p>本件委託業務に係る各プログラムに相当する、令和元年度のプログラムの実績は次のとおりです。</p> <p>(1) ひなたMBA特別講演 定員：100名、申込数96名</p> <p>(2) ひなたMBA×丸の内プラチナ大学 定員：320名、申込数278名 ※4回の合計数</p> <p>(3) 高度プログラム</p> <p>①ヒューマンスキルプログラム 定員：20名、申込数：10名</p> <p>②テクニカルスキルプログラム 定員：20名、申込数：18名</p> |
| 1 3 | — | 前年度事業の課題 | <p>いずれのプログラムにおいても、受講生の確保に苦慮したため、各プログラムが対象とする県内企業に情報を届け、受講していただく方法が課題と考えています。</p> |
| 1 4 | — | 前年度事業の結果と本年度特に重点とする内容 | <p>前年度事業においては受講者をおおむね確保できましたが、今年度の③～⑤のプログラムはICTを利用した方法で実施するため、昨年度以上に効果的な受講者の確保の方法を提案してください。</p> |

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | | 今年度は、単に受講者を確保し、人材育成を行うことにとどまらず、意欲ある受講者同士のつながりを構築することを目指します。また、ひなたMBA全体の価値を広く県内企業等に効果的に周知し、企業等における人材育成の機運を高めることを重視します。 |
|--|--|--|---|